

# ソバの収量アップに向けた環境保全対策

## 1. そばの実り

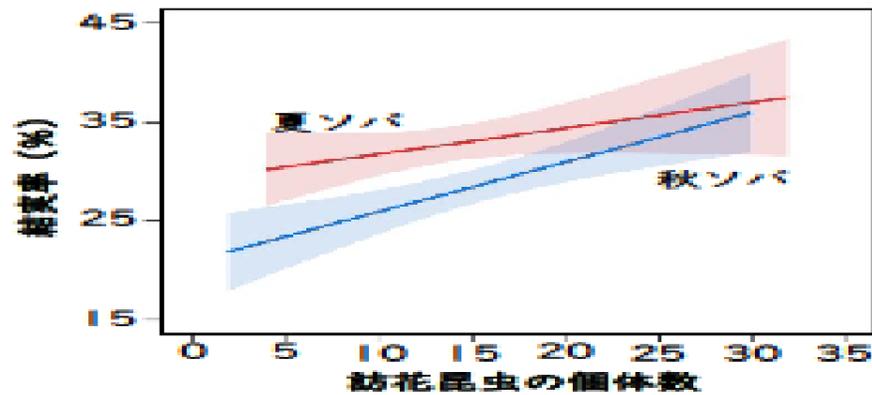
- ① そばは咲かせた花の30%以下しか実にならない。
  - ② その結実を助ける虫たちの働き
- ソバには2つのタイプの花があり、実をつけるには、別のタイプの花の花粉が運ばれる必要がある。  
※(自家不和合性)

そのため、この花粉を運ぶ昆虫たちの働きが、ソバの収量に大きく関与する。

### ☆訪花昆虫☆

- チョウ目 モンキチョウ・ヒメアカタテハ・イチモンジセセリ・ミヤマシジミ他
- ハチ目 コマルハナバチ・キボシアシナガバチ・セイヨウミツバチ・クロヤマアリ他
- ハエ目 ナミハナアブ・キンバエ・シマハナアブ・ヒメヒラタアブ他
- 甲虫目 コアオハナムグリ・シロテンハナムグリ他

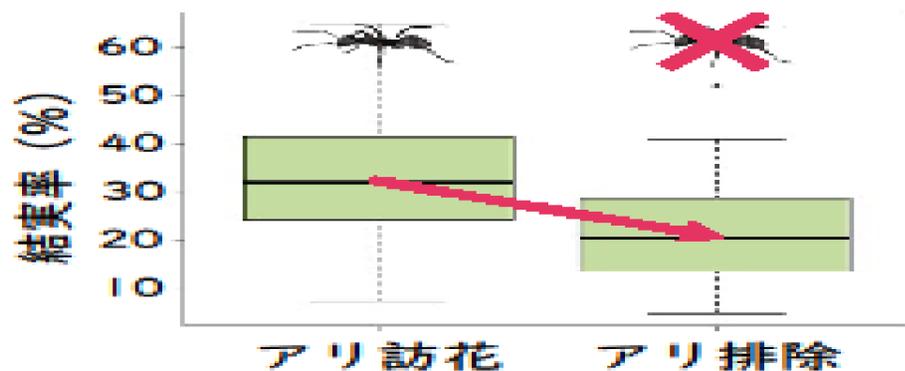
☆証拠① 花粉を運んでくれる訪花昆虫が多いとソバの実りも増加し、逆に訪花昆虫が減るとソバの実りも減少する、そのため、訪花昆虫を増やす自然環境が非常に重要である。



### ③訪花昆虫の中の働き者 <小さな働き者 アリ>

訪花昆虫の中でも、ハチにも負けず実りに貢献しているのが、アリになります。

●アリはそばの結実率を3割以上アップさせる実験結果が出ています。  
実験でソバの株からアリを排除したところ、平均約3割収量が低下しました。



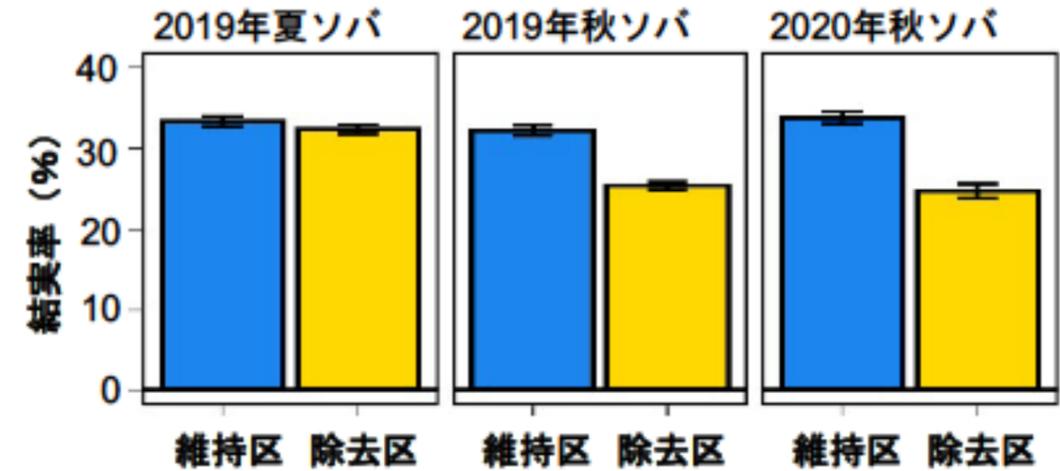
## 2. ソバ畑の周辺環境と送粉サービスの関係

- ① 畦畔の草刈管理は訪花昆虫に影響します、訪花昆虫は、昼間はソバの圃場に訪れ、夜は畦畔の植物で休憩することが、現地の調査で分かってきました。  
(ミツバチなどの巣を持つ昆虫は除く)

## 3. そばの収量を上げる、畦畔の管理

2019年～2020年に行って試験結果から、「そばの播種から開花中に草刈を控えると結実率も増加」した結果が得られました。

### ☆証拠②



結果 そばの栽培に適した草刈のスケジュール

|            | 5月   |    |    | 6月      |    |    | 7月  |    |    | 8月 |    |    | 9月 |    |    | 10月 |    |    |
|------------|------|----|----|---------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
|            | 上旬   | 中旬 | 下旬 | 上旬      | 中旬 | 下旬 | 上旬  | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬  | 中旬 | 下旬 |
| ソバの成長      | 播種   |    |    | 開花      |    |    | 収穫  |    |    | 播種 |    |    | 開花 |    |    | 収穫  |    |    |
| 草刈り不適期     | 不適期  |    |    |         |    |    | 不適期 |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |
| 従来の時期      | 田植え前 |    |    | イネの害虫防除 |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |
| ソバ生産に適した時期 | ○    |    |    |         |    |    | ○   |    |    |    |    |    | ○  |    |    |     |    |    |

ソバの栽培圃場では、水稻栽培時の草刈より、2回程度草刈を控えることで、収量の確保と管理の省力化が行えます。